

石狩教育局では、各学校における教育課程や学習指導、地域と学校の連携・協働等に関する事項について、管内教育推進の重点を踏まえた協議等を通して、各学校が抱える課題の解決に向けて、学校訪問を戦略的に活用いただきたいと考えています。

今号は、各指導班における学校訪問について紹介します。

高等学校教育指導班

高等学校教育指導班が各道立高等学校に訪問する機会は、主に「石狩教育局学校教育指導訪問（第一次訪問）」と「石狩教育局教科指導訪問（第二次訪問）」があります。

各学校訪問の目的や時期、内容についてまとめましたので、御覧ください。

石狩教育局学校教育指導訪問 （第一次訪問）

《 目 的 》

各学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項について、法令、学習指導要領、北海道教育推進計画、教育行政執行方針、管内教育推進の重点等を踏まえた協議を通して、学校の課題を明確にするとともに、その解決に向けた指導・助言を行い、高等学校教育の一層の充実を図る。

《 訪問時期 》

5～7月頃

《 実施内容 》

教務及びその他分掌に関する協議を、教育局訪問者と部長、主任で実施します。

また、特別支援教育の充実を図るため、必要に応じ特別支援教育スーパーバイザーとの協議も行います。

Point

『課題の明確化』

石狩教育局教科指導訪問 （第二次訪問）

《 目 的 》

各学校における「カリキュラム・マネジメント」や「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学校教育目標や目指す資質・能力を踏まえた授業改善や教材研究、学習評価の改善・充実など、学校組織全体としての指導力の向上に向けた指導・助言を行い、高等学校教育の一層の充実を図る。

《 訪問時期 》

9～12月頃

《 実施内容 》

教科における授業見学及び協議を、教育局訪問者と教科担当で実施します。

※令和6年度道央ブロック配置指導主事
国語 公民 数学 理科
保健体育 外国語 ※他教科も訪問可

Point

『授業改善』

石狩教育局学校教育指導訪問（第一次訪問）及び石狩教育局教科指導訪問（第二次訪問）を通じて管内高等学校教育の充実、子どもの資質・能力の向上につながるよう、学校と緊密な連携を図ってまいります。

（高等学校教育指導班主査 鈴木 肇）

義務教育指導班

学校教育指導訪問が
始まります

資質・能力の確実な育成・定着

- 取組 1 「対話」を重視した授業改革
- 取組 2 ICTを有効に活用した授業改革
- 取組 3 誰一人取り残さない3層への確実な指導による授業改革



○ 計画訪問

年間2回の
計画訪問

- ・1回目 直接訪問
(5月から11月頃)
 - ・2回目 原則遠隔会議システム
を活用した訪問
(12月から2月頃)
- ※計画訪問では、授業改革及び生徒指導に関する協議を行います。

○ 要請訪問

ニーズに応じた
要請訪問

- ・公開研究会での助言
- ・生徒指導に関すること
- ・特別支援教育に関すること
- ・初任段階教員への指導に関すること
- ・校内研修に関すること
- ・コミュニティ・スクールに関すること

学校を訪問し、子どもたちが一生懸命学んでいる様子を参観できることを楽しみにしています。要望や不明な点等がありましたら、市町村教育委員会を通して、義務教育指導班に御連絡ください。一年間どうぞよろしくお願いいたします。(義務教育指導班指導主事 加藤 慎嗣)

社会教育指導班

社会教育指導班も
学校を訪問します

管内教育推進の重点 テーマ

「子どもの未来保障」

重点3

地域と歩む接続可能な教育体制の実現

取組1 熟議の活性化

取組2 連携・協働体制の構築

計画訪問 5月に教育委員会へ訪問
6月～12月に学校
(1市町村1・2校)を訪問します

要請訪問 通年で実施できます
例) ・学校運営協議会における熟議の改善
・CSの体制の見直し
・学校運営協議会委員に対する講義
・CSの評価
・地域住民に対する説明会講師
・校内研修の講師
・地域と連携した授業の持ち方

<計画訪問の内容> 1市町村1・2校を訪問する予定です。

- ・地域と連携して実施する授業の参観
- ・学校運営協議会の視察
- ・学校運営協議会の充実や地域人材の活用に向けた、校長先生や、地域連携担当者等との協議、意見交換等



学校と地域が連携・協働し、未来を担う子どもの学びや成長を支え、「子どもの未来保障」を実現していきましょう。要請訪問等を希望される場合は、社会教育指導班只野まで御連絡ください。tadano.kouta@pref.hokkaido.lg.jp (社会教育指導班社会教育主事 只野 浩太)